

令和8年度ひみ未来づくりミーティング議事録（柳田地区）

日 時 2026/7/13 18:30～20:02
場 所 西条地区集会場
出席者 23名
市長、政策統括監 総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、
防災・危機管理監、消防監理監、地域振興課、地域担当職員
進 行 18:30～18:31 出席者紹介
18:31～18:34 市長あいさつ
18:34～19:06 市政の概要について（市長説明）
19:06～19:55 意見交換
19:55～20:02 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	■新駅について 氷見駅と島尾駅をつなぐ新駅（植物園付近）に対する考えを聞かせていただきたい。	■企画政策部長 新駅の場所は、だいたい海浜植物園付近と考えている。例えば、周りが住宅地になるのであれば利用が増える。また、海浜植物園への来訪者と絡めれば利用が増える。そういったこともふまえ、どの位置に実際設置した方がよいのか検討しながら進めていく。観光客及び住民の皆さんにとって使い勝手が良い場所にしっかり整備できればと思っている。
2	■農地転用について 宅地規制について、中仙道交差点より海側は農業振興地域となっているが、農地としての役割を果たしていない場所が多い。更なる若年層の確保に向けて、宅地造成の緩和を行っていただけないか。	■産業振興部長 市全体の住宅需要等を勘案して検討していく。
3	■西条畑地かんがい土地改良区のインフラの整備について 畑かんの施設の老朽化について、市民の安全確保という面にも関わってくるため、各種インフラ整備の加速を進めていただけないか。	■建設部長 水道の耐震化・老朽化対策を進める。ストックマネジメントの予算をとるのが一つの肝だと思う。財源を国へ要望して確保し、少しでも加速化して皆さんの安全で安心な暮らしを守りたいと考えている。
4	■小・中学校の空調設備について 避難所となる小・中学校の空調管理について、例年の気温の上昇に対して熱中症対策が遅いと感じており、夏場でも子供が元気よく体育館で授業を受けられるような環境を整えてほしい。また避難所としても活用しており、直近で被災した地域であるため、スピード感を持った対策をとっていただきたい。もし窪小学校、西條中学校体育館の空調整備の計画をされているのであれば、いつ頃なのかお聞かせお願いしたい。	■教育次長 体育館の空調設備について、令和8年度は北部中学校の工事を行っており、西條中学校は令和9年度に設計業務を行い、引き続き工事を予定している。窪小学校については、先に中学校を優先して設置しているため、今後順次進めていくことになる。
5	■海浜植物園を核とした駅づくりについて 窪小学校区及び宮田小学校区は人口は減っているが、世帯数は増えている。そのため新駅はこの地域が1番良いのではないと思う。このことから植物園を核とした駅づくりをしてほしい。ここを中心にして番屋街まで別の交通手段を使うのもありではないか。	■企画政策部長 氷見市は車社会であるため、鉄道を利用してもらうときは駅に駐車場は必須であると思っている。もし新駅を植物園周辺でということになれば当然駐車場を準備する。城端線との直通までもう少し時間はかかるが、3年後には氷見線の本数も増えるので、それに向けて新駅の設置を検討していく。駅ができれば周りがにぎやかになる可能性があるのも、いただいた意見も参考にする。

6	■新たな施設の建設について 氷見市に専門学校がなく、全国で一番小さな専門学校があってもよいのではないかと。また、小さなアイデアのある会社をもってきてほしいので、パンフレットをつくって宣伝していただけないか。そして工場やホテル、娯楽施設、プールなどをつくっていただけないか。	■産業振興部長 専門学校に関して、魅力的な専門学校ができれば経営的にも成り立つとは思いますが、ニーズがどれくらいあるのかが一つの大事なポイントである。企業については、人をどう確保できるかが最近のポイントとなっている。それらをクリアしつつ、場所については利便性が大事になってくるので、そういうところも探しながら、今後も積極的に進めていきたい。
7	■お元気ですか訪問について 物価高騰のため、去年は3品持って訪問していたが、今年は2品しか配れない。もう少し補助していただけないか	■市民部長 持ち帰って検討したい。物価高が色々なところに影響が及んでいるため、全体の話として考えていかなければいけないと思う。
8	■市の予算の事業効果の見える化について それぞれの取組に対して、どれだけお金が使われて、それに対してどれくらい効果が出ているかを把握するために、KPIを出して市のWebにダッシュボードでも何でもいいのでサマリーを出していただきたい。	■総務部長 総務部では、歳入歳出向こう10年の中長期財政見通しを毎年見直しながら財政運営を進めている。人口が減って全てがシュリンクしていく中で、いかに柔軟に対応していくかが重要となる。現在の行政改革プランは、令和4年度から令和8年度の計画であり、ホームページにその進捗を公開している。そして、今年が総合計画を新たにつくる年であるため、5年間の次期行政改革プランも新たに策定する。それに加えてデジタル化を進めて、生成AIなどと一緒に働いていくようなことも考えていかなければいけないため、DX推進計画も策定しているところである。